

令和6年度

信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会

茅野市立永明小学校3年3部への質問・感想

(児童のみなさんへ)

- ・ 蚕について歴史から説明してもらえたので、蚕が人々にとってどのような生き物であるかを知ることができました。蚕の絵を使って成長の様子を表していたことで、蚕を育てる大変さがとても伝わってきました。繭から糸をつくる活動の様子を見て、昔の人たちが糸をつくることに苦戦していたんじゃないかなと感じました。
 - ・ 蚕の一生や育て方について知ることができました。「お蚕様」という呼び名の由来が印象的でした。生き物は自然に近づけて飼育した方が良い感じがしますが、どうしてお日様に当ててはいけないのですか。また、現在も養蚕は行われているのです
 - ・ 家畜だから数え方が違うことを初めて知りました。絵がとても可愛くて、わかりやすかったです。お蚕さまの一生がわかりやすかったです。大切に育てていたことがわかりました。様々な活用方法があるんですね。驚きました。今後も頑張ってください
 - ・ 解雇についてしっかりと調べることが出来てすごかったです。小学校3年生でもここまでできるんですね！。劇の形にしてくれたので、どんなことをしてきたのか、お蚕様はどんな生き物なのかということがよく伝わってきました。自分の周りにも蚕からできている製品がたくさんあるということをして驚きました。パソコン（パワーポイントなどを使って）で発表する物だと思っていたのでこういうのもいいですね。
 - ・ とてもいい発表だと思いました。
 - ・ 地いきのとくちょうてきな物を育てる中で、たくさんの発見があったのだなと思いました。私はカイコの見た目がにが手ですが、みなさんはかいこを大切に育てているので、まったくこわくないんだろうなと思いました。自分のカイコが大きくなると、うれしいですね。「まゆは人を幸せにする力があります」という言葉がいいなと思いました。きっと、みなさんは、カイコを育てることで、きっと幸せについて考えられる、すてきな人になったんだろうなと思いました。
 - ・ 蚕にしっかり愛着を持って接していた姿勢が素晴らしかったです。皆さん堂々と発表している姿もとても頼もしく思いました
 - ・ 素敵な発表ありがとうございました。蚕の成長やフン、繭など蚕を様々な見方をして活動を行っていることが伝わってきました
 - ・ 素敵な発表ありがとうございました。蚕を飼うことを通して、人間が様々な生き物の命をもらって生きていることに気づいたと言っていました、それはとても大切な気づきだと思いました。蚕のふんまで活用するように、生き物からいただいたものを余すことなく使うことは、生き物に感謝するとともに、資源の無駄づかいを抑える効果があるのでとても良い取り組みだと
 - ・ 生き物の大切さや、環境を守ることの重要性を知ることができました。生き物に対して抵抗がない子どもたちばかりで驚きました。蚕に関する活動は貴重な活動だと思います。この活動を通して学んだことや得た知見を今後も活かしていってください
 - ・ 色々なことを調べて発表していて、とても興味を持ちました。劇のように進めているパートが、自分たちで考えて作っていたことが感じられて、良いと思います。私自身、知らない知識を皆さんの発表から得ることができました。「意識して村の環境を守っていきます」という決意がとても頼もしく感じられました。
 - ・ 「お蚕さま」という呼び方に込められたカイコのことをたくさん知り、大切にすることがとても印象に残りました。蚕をただの生き物としてではなく「様」をつけて大切に思う気持ちを表したり、昔から人々の生活に深く関わってきたことが伝わってきました。
- また、発表では劇をしながら説明して下さったことで、すごく伝わってきました。ただ活動内容を報告するのではなくて、私たちへ向けて届けようとして下さっていることが伝わってきたとてもあたたかい発表でした。またお蚕さまについていろいろな道具を使って、視覚的にもわかりやすく教えてくれたことで、お蚕さまの一生を私たちも見るように感じました。茅野市立永明小学校3年3部のみなさまの発表をお聞きして、私たちの暮らしには本当にたくさんの命と繋がっていることを学び
- ・ お蚕様と呼ばれるようになった歴史を知ることによって、お蚕様が人々にとってどれほど大事な存在であったかがよくわかり、命の尊さを知ることでもできたと思います。絵を使ってお蚕様の成長の様子を説明してもらえたので、お蚕様を育てることの大変さがよく伝わってきました。
 - ・ 蚕の育て方や育てる上での注意点、蚕の性質などがよく伝わってきました。蚕を通して命を学ぶことができただけでなく、蚕のすべてを余すことなく活用することを学ぶことができていて素晴らしいと感じました。蚕のうんちまでもが活用されていることは知らなかったのが驚きでした。蚕だけでなく、すべてのものを余すことなく使えないか考えながら生活していきたい
 - ・ 蚕の育て方や育てる上での注意点、蚕の性質などがよく伝わってきました。蚕を通して命を学ぶことができただけでなく、蚕のすべてを余すことなく活用することを学ぶことができていて素晴らしいと感じました。蚕のうんちまでもが活用されていることは知らなかったのが驚きでした。蚕だけでなく、すべてのものを余すことなく使えないか考えながら生活していきたい
 - ・ 発表ありがとうございました。たくさん準備したであろう成果が存分に発揮できていましたね。お蚕様とえば生糸の生成をしているということくらいしか知りませんでしたが、私たちの食生活など様々な場面に影響を及ぼしていることがわかりました。まさに皆さんが言っていたように、私たちは「他の生き物の命をいただいて暮らしている」ということを実感しました。こういった感覚が当たり前になってしまうと、生き物への感謝の念を忘れてしまうのだと思います。このような大切なことに改めて気づかせていただいた素敵な発表でした。
 - ・ 蚕が歴史上どのように扱われていたのか、お蚕さまをどのように飼育したのか劇を通してよく理解することが出来ました

- ・ みなさんが丁寧に「おかいこさま」について説明してくださったので、私自身も「おかいこさま」についてたくさんのことを学ぶことが出来ました。また、みなさんがとても大切に「おかいこさま」を育ててきたのだなということを感じました。「人は他の生き物の命をもらっている」という言葉がとても印象に残りました。「おかいこさま」以外の他の例も考えられたら、より良くなるのではないかと思います。発表ありがとうございました！
- ・ カイコについて大体のことは知っていたが詳しくは知らなかったが、発表を通して特徴について知った。数え方が一頭二頭なのは驚いた。カイコの一生について知ることができて面白かった。育て方についても大変そうだった。4回も脱皮することを知った。とてもわかりやすくカイコについて知ることができた。
- ・ カイコの仕組みをしっかり理解できていた。生体の仕組みや歴史についても理解していて、理科学的な学びも多くあったと思う。多くの絵を使って説明してくれてとても分かりやすかったです。
- ・ 蚕の歴史や生態を絵や劇を通して表現するという、ユニークでわかりやすい発表が印象的でした。繭で人形を作ったり、繭から糸を作る体験をしたりと、実際に手を動かしながら学びを深めている点が素晴らしいと思いました。特に、糸を生成する工程を体験することで、昔の人々の工夫や苦労を実感できたのではないかと思います。蚕と人の関わりを未来につなげるために、どう発信していくかも今後の課題となりそうだと思います。今回の取り組みを通じて学んだことを、地域の人々や他の学校にも伝えていけると、より意義のある活動になると思いました。
- ・ お蚕様の飼育の大変さや食べ物などを知ることができてよかったです。素手で触ってはいけないことを初めて知り、予想以上に蚕を飼育するということは大変なのだと思いました。また、小学生らしい発表方法やちょっとした劇を交えた説明が可愛
- ・ 蚕についての特徴や歴史についてよくまとめられていてすごいと思います。また、実際に飼育したからこそわかることを簡潔にまとめられていてとても分かりやすかったです。一ヶ月もかっこの飼育できたと聞いてとても驚きました。皆さんが蚕様をととても大切にしていた事がよく分かりました。
- ・ 蚕について様々なことを知れてよかったです。一部劇のような発表をしていて、見やすくとても面白かったです。蚕の糞がシャンプーや抹茶アイスに利用されていると聞いてとても驚いたし、蚕がとてもすごい生き物であることが分かりました。
- ・ 蚕がどんな生き物なのかを説明したり蚕が神様として祭られていることなどを説明していてよかったと思った。蚕が糸を出す過程や蚕の糞を利用していた話を聞くことができてよかった。
- ・ まず初めに蚕の説明をしていることで蚕を知らない人でも発表を聞くことができると思った。また、蚕を通して実際に体験をしていることでその体験から得た自分の意見や考えを簡潔にまとめている点がわかりやすいと思った。
- ・ 発表の仕方が、今までのチームの中でもとても工夫されていると思います。調査過程・結果も、それを伝える力も重要で、絵一枚一枚丁寧に描いているのもとても可愛らしかったです。それだけでなく、実際に手を動かして製作することは生徒さん自身が自主的に活動に参加していることが顕著に表れていました。これからも頑張ってください。
- ・ 虫としてのカイコだけでなく、日本神話に出てくるカイコまで詳しく調べてまとめられていてとても良いと思いました。またカイコやサナギなどの絵も、発表を見ている私たちにとって、目で見てカイコについてイメージできるのでとても分かりやす
- ・ お蚕様のうんちが抹茶アイスの着色料に使われているかもしれないという情報は、とても衝撃的で笑ってしまいました。また、お蚕様のことを私はよく知らないでいたので、皆さんの活動を知って興味を待つことができました。
- ・ お蚕様についての知識を皆さんのわかりやすい説明で深めることができました！あのような小さい体で非常に大きな役割を果たしていることに驚きを感じました。長野でかつて発達した産業の一つとして、今後もお蚕様を大切にしていきたいです。
- ・ 今回の発表を聞いて私は、蚕について多くのことを学んでいてすごいと思った。実際に私も蚕の糞がアイスの着色料などに使用されていることは知らなかったので勉強になった。また蚕の飼育や生糸の製造工程などを通して命の大切さなどを学び、この先の将来について多くのことを学んでおりいい探究であると感じた。
- ・ 自身で作ったイラストを活用しみんなで劇をしながらわかりやすく発表することで、聞く人がわかりやすくなるように工夫できることだけでなく、発表者自身が内容についてより深く理解できるようになったのではないのでしょうか。良い工夫であった
- ・ お蚕様の飼い方について、紙芝居のように絵を用いて説明していてとても分かりやすく素晴らしかったです。また、劇のように発表を進めているところが新鮮で面白く、とても印象に残りました。これからも自分たちなりの探究活動を続けていってほ
- ・ お蚕さまについて、よく知ることができました。わかりやすい説明と共にすてきなイラストがあったことで、魅力的な発表になっていると感じました。お蚕さまを飼うことで、自然のサイクルを学び、児童の皆さんの感性も深められるような活動に
- ・ カイコの一生がどのようにになっているのか、どんなものを食べているのか初めてすることができました。繭から糸を取るということを実際に体験することによってそのように取るのかわかりやすい説明でした。ありがとうございました。
- ・ パートに分かれて発表されていて各パートがそれぞれの工夫を凝らした発表がされていてよかったです。また、それぞれが気になったことを深いところまで調べていて、また地域に根差した内容の発表をされていてよかったです。
- ・ お蚕様の飼育を通してただ育てるのではなく、養蚕業の歴史とお蚕様の体のつくり、なぜこう呼ばれているのかなど様々な方面に興味をもってたくさんのことを調べられていて、調べ学習によって得た知識と実際に育てていく中で学んだことがたくさんあるのだと伝わってきました。絵を使つての説明がとても分かりやすくてよかったと思います。
- ・ カイコをみなさんでたいせつにお世話をしてきたんだとかんじました。いのちのたいせつさや自分たちとのつながりについて考えている姿がすばらしいと思いました。発表も、げきを交えていることで聞きやすいと感じました。
- ・ 絵を描いてパネルにしたり、本物を用いたりしながら発表していたので、とても理解しやすかったです。蚕の成長から、ご飯を食べる時の「いただきます」という理由など、いのちについての学習にまで発展していたので、良い探究学習ができている
- ・ イラストなどを用いて劇のように発表していたことが良いなと思いました。イラストがすごく上手でみなさんの発表もとても分かりやすかったです。また、本物のカイコの繭を持っていたことがとても印象に残りました。発表を聞いて私もカイコについてたくさんを知ることができました。これからも頑張ってください。

- ・ スライドを作るだけでなくペープサートをしたり、実物を持ってきたりして内容が伝わりやすかった。生き物の命を使って生活していることを知ることで命を大切にできるようになると思った。蚕の絵を書いたり割りばしを使うなど身近なものを利用していることも良いと思った。
- ・ 蚕の絵をかくてあるものが丁寧に作られていてすごいと思った。割り箸を使って作っていて身近な材料で工夫して発表の準備をしていることが伝わってきた。劇をしている様子を見て発表する内容をきちんと準備をしていたことがよく分かった。
- ・ ところどころカイコの豆知識があったりと聞いてとても面白かったです。小学校3年生にしてハキハキと堂々と喋っている姿は大学生の自分も学ぶものがあると感じました。とても面白かったです！これからの調査も頑張ってください！
- ・ まゆについてとても興味を持てるような分かりやすく、すてきな発表でした。これからもがんばってください！
- ・ ペープサートを使って面白かったし分かりやすかったです。カイコの糞が身近なものに使われていることに驚きました。さまざまなものにカイコが使われていることをしりました。
- ・ それぞれの説明がとても具体的でわかりやすかったです。イラストやちょっとした寸劇をしているのも面白いと思いました。一人一人が役割を分担して発表していて素晴らしかったです。カイコの一生について詳しくなれました。ただカイコを育てるのではなく、そこからきちんと学びを得ていて素晴らしいと思いました。学んだことを今後に生かして欲しいです。
- ・ 地域にとって大切なカイコについて詳しく調査をされているのがすごいと思いました。様々な改良がされていたりと知らなかったことをたくさん知ることができました。飼うときの様々な工夫や、脱皮、絹以外の活用についても初めてのことをたくさん知りました。生き物を育てるのは大変だと思いますが、命の大切さについて学んでいるのが素晴らしいと思いました。
- ・ 他の小学校や中学校と違った、発表の仕方で行われていてすごく面白かった。スライドにまとめるのではなく、自分たちで作ったもの等を使って動画をつくり発表していて、とても面白くいいと思った。原稿を下において読むことに意識し過ぎなのかなって感じがしたので、もう少し前を見て話せていたらもっとよかったと思う。
- ・ 蚕を実際に飼い、成長の過程を見守り、最終的に蚕はどうなるのかということを疑問に思っていたことが良かった。私は繭を使ったクラフト体験をしたことがあるのだが、蚕は繭になってからいなくなるものだと思っていた。今回の発表を聞いて、かいこは蚕蛾になることを知った。探求活動においては疑問を抱くことが大切だと考えているので、これからも様々な
- ・ 永明小学校でのかいこの飼育を通じて、命の大切さを学ぶ活動は非常に意義深いと思いました。生き物の成長過程を観察することで、脱皮を繰り返し成長する姿に感動し、命の循環について考える良い機会になると思います。かいこの糞を着色料として利用するというのも、資源を無駄にせず有効活用する大切さを教えてくれるのではないかと思います。自然の中での役割やサステナビリティについても、子どもたちに理解を深めるきっかけになるのではないかと思います。また、かいこのまゆを冷凍することで命を終わらせることや、まゆから糸を取る過程を学ぶことで、食物連鎖や人間の生活との関わりについても考えることが出来ると思いました。さなぎを佃煮として食べることも、食文化の一環として命をいただくことの意味を教えてくれる大切な体験なのではないかと思います。このような活動を通じて、子どもたちは命の大切さや、自然との共生について深
- ・ 永明小学校3年生の皆さんは、蚕について節の数や足の数などを詳しく調べ、絵や画像を使って発表していた点が良いと思いました。私自身、「お蚕様」と呼ばれるほどの歴史があることを初めて認識て、非常に興味深く感じました。蚕を飼う時には日に当てないといった複数のポイントを、イラストなどを用いて具体的に説明してて分かりやすかったです。また、繭の糸を使った作品は素敵だと思いました。このような活動を通して、蚕が私たちの生活や文化とどのように関わっているのか学ぶという経験は、非常に意義のあることだと思います。さらに、日本に昔から伝わる「絹の産業」について調べてみても良いのかもしれないです。参考にしてみてください。
- ・ 蚕の歴史や一生を絵を使って発表してくれたおかげで詳しく学ぶことができました。キーホルダーやまゆ人形など知らないことばかりで新鮮でした。皆さんがまゆについてとてもよく調べられていることが分かりました。声もハキハキしててとても
- ・ まず自分の調べるものについて良く調べることができているのが良いと思った。また劇などでプレゼンに飽きさせない工夫が凝らされていると思った。また自分たち自身で実践することで蚕についてより詳しくなるだけでなく、他にも目を向けてさらに活動の幅を大きくしているのが良いと思った。
- ・ 発表を聞いて、蚕について詳しく知ることができました。蚕からできるまゆは、私たちの生活の中にも使われており必要不可欠なものであることが分かり、今後守っていかなければいけないと感じました。私たちは普段の生活の中で、他の生き物の命をいただいて生活することができているので、私自身も、改めて生き物に感謝して生活していきたいと感じました。
- ・ 蚕の大きさや脱皮の様子を絵に描いてパネルのようにしているのが面白かったです。蚕をよく観察し、聞き手に蚕の様子を伝えようとする意思がとても伝わってきました。蚕が家畜であったことには驚かされました。数えるときは一匹二匹ではなく、一頭二頭と数えることも初めて知りました。石鹼や化粧品などにも利用されていることも知り、繭はもちろん蚕のふんや死骸などは方法次第で様々なものに再利用できることが分かりました。
- ・ 私は蚕を見たことも触れたこともありませんが、皆さんの発表から蚕の生態について詳しく知ることができました。蚕の歴史や繭のでき方、蚕の一生、脱皮など知らないことがたくさんあって驚きました。皆さんが蚕についてここまで詳しく調べて、理解していることは本当にすごいと思います。また、自分たちで蚕を育てることで、命の大切さについて考える貴重な機会になっていると感じました。繭工作や繭から糸をとる経験をしていることも分かりました。これからお蚕様を大切に、他の生き物の命をいただいていることを理解して実践に取り組んでいってください。応援しています！

- ・長野県でとても有名な蚕についての発表なのでとても期待が高かったのですが、一人ひとり発表で伝えたいことを絵や言い方などで工夫している姿を見てとてもすごいなと感動しました。

蚕の数え方や蚕の一生、利用方法や学んだことに対して茅野市立永明小学校の皆さんが感じたことや学んだことをまっすぐに伝えてもらったことがとても勉強になりました。特に、脱皮についてのお話はとても興味深かったです。「蚕が脱皮そんなにたくさんするのか」ととても衝撃でしたし、脱皮のたびに蚕が成長していく姿を発表で表現出来ていてとても分かりやすかったです。利用方法についても、昔の知恵を使って蚕の全てを大切に扱っていたという気づきから「命の大切さ」について学ぶことができたという驚きでした。皆さんで楽しそうに繭玉から糸を取ってみたり、眉人形を作ったり、キーホルダーを作ったりしている姿から元気をもらいました。

ここで1つ皆さんに驚きのニュースをお届けしたいと思います。「蚕を死なせずに糸をとる方法」があるというのを聞いたことはありますか？実は同じ長野県の岡谷市長地小学校の4年生の1人が、野生の蚕から取り出す方法を考え出しました。全国でも異例の大発見をしたこの小学生に対して文部科学大臣賞を受賞したそうです。ぜひみなさんも、この記事を読んでください。

→<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240221/k10014366331000.html>

今までは命を頂戴しながら私たちが生きてきましたが、今の技術によりすべての生き物が一緒に仲良く過ごすことが出来るようになってきているのかもしれませんが。命の大切さを学ぶことができた皆さんなら、これからの未来を任せることができると信じています！頑張ってください。

- ・蚕について自分はあまり触れてくる機会がなかった。しかし今回を通じて、地元である長野県で有名な蚕や養蚕について知る機会を得ることができ、詳しくなることができた。多く用意されていた絵などからも実際に飼育して得た愛情のようなものも
- ・蚕の成長の様子と、その成長を飼育者として見守った子供の体験したことがよくわかる劇になっていた。蚕を煮てしまうのはかわいそうという意見と、蚕の作ったシルクを大切に扱わなければならないという覚悟が、一人ひとりの生命観に新しい視点をもたらしたのではないかなと思う。
- ・カイコについて小学生3年生で学び、それをまとめるというのは簡単なことではないと思います。それをただまとめるだけでなく、模型などを作ってわかりやすく説明できるように工夫がされていて、素晴らしかったです。カイコの説明をすることは大学生でも準備がひつようなことなので、大変だったと思いますが、それをやり切ったみなさんは本当にすごいと思います
- ・カイコの不思議に迫っていく姿勢素晴らしかったです。養蚕場は諏訪以外にも過去様々な地域にあったと思うので、歴史に更に迫りたければ、訪れてみるのも良いでしょう。カイコだけでなく、身近なものが何で出来ているのかについて興味を持って
- ・繭で糸を取るだけでなく、繭自体を使って工作をすることでお蚕さまの作った繭そのままの形を生かした工作になっていてとても良い発想だと思いました。生き物をテーマにした活動で悩むこともあったと思いますが、ガの命を残すという仕事や自分たちも他の生き物の命を頂いて生きていることなど重要な学びを得ていたので、これからもこの探究で得た学びを大切に他の生き物の命との向き合い方を考えていってほしいと思いました。
- ・日本で高度経済成長期に日本を支えたカイコに着目をして、それについて調べて取り組んでいるのがすごいと思った。小学生でそのことについて扱おうと思えるのがとてもセンスがあると感じた。わかりやすい発表だったのでとても良かった。
- ・私は「おかいこ様」について網ができるということしか知らなかったのですが、永明小学校3年3部のみなさんの発表からたくさんの学びを得ることができました。かいこの成長過程などについて言葉で伝えるだけでなくイラストを使うことによって、とても分かりやすい説明になっていました。繭から取った糸を使った工作もすごく素敵でした！
- ・蚕についての理解を劇を用いて深められていること、教科横断的なSTEAM教育にもつながっていて良いと思いました。また、蚕のまゆを利用して自分たちがどんなことをしたいのかその思いを大切し、実際のものとして形にできていて良いと思いました
- ・命を頂いているということについてお蚕様を通して考えることができていいと思いました。繭から糸を取り出すところまでできてすごいと思いました。また、繭を使った工作も素敵でした。お蚕様を育てた経験がきっと今後に活かされていくと思います(教職員のみなさまへ)
- ・お蚕様を育てる中で、お蚕様には多くの利用価値があるということに気づいていったことが伺えました。また、昔の人の知恵を現代にも引き継いでいこうとするなど、文化、伝統を大切にしようとする気持ちが育まれていると感じました。1つ気になったことは、発表の中に子どもたちの赤裸々な思いが入っているといいなと思いました。お蚕様を育てる中で難しいことや、葛藤があったのではないかなと思います。「本当に生きている繭を切りひらいていいの?」、「繭を糸にしてどうするの?」、「本当に佃煮として食べられるの?」など、批判的思考を働かせていくことが、新たな価値感を生みだしたり、行動の変容をもたらしたりするのではないのでしょうか。昔の人のやり方をなぞらえるだけでなく、「わたしたちはこうやってみよう」と、子どもたちの中から活動が生まれてくると、さらに素敵だなと感じました。